

2024 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	口腔腫瘍外科学講座
主任教授	野村 武史
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	野村 武史
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	<p>公益社団法人 日本口腔外科学会認定医・専門医・指導医 NPO法人 日本口腔科学会認定医・指導医 一般社団法人 日本口腔診断学会認定医・指導医 公益社団法人 日本口腔内科学会認定医・専門医・指導医 一般社団法人 日本口腔腫瘍学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 (歯科口腔外科) ※その他各種学会認定医あり</p>
研修期間 (入学時期)	原則として1年間 (最大6年間の研修が可能である) (4月)
受入れ人数 (総数)	年度毎 約8名
指導医	野村武史 (口腔外科学会、口腔科学会、口腔内科学会、口腔腫瘍学会、顎顔面痛学会)、齋藤寛一 (口腔外科学会、口腔腫瘍学会)、鈴木大貴 (口腔外科学会、口腔診断学会、口腔内科学会、口腔腫瘍学会)、三邊正樹 (口腔外科学会、口腔内科学会)、平賀智豊 (口腔外科学会、口腔診断学会)、岡村将宏 (口腔外科学会、口腔診断学会)
修了の認定要件	各学会の専門医および認定医の資格要件に沿った臨床研修に関する実績報告書を作成することにより修了とする。
プログラムの目的	
日本口腔外科学会の認定医・専門医、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本口腔内科学会などの認定医取得要件を満たすために必要な研修、論文作成等を行う。	
ユニット	
口腔腫瘍外科学講座の臨床専門専修科プログラム	
一般目標 (GIO)	
日本口腔外科学会の認定医・専門医、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本口腔内科学会などにおける各認定資格を取得する、あるいは同等の要件を満たすための知識および技能を修得する。	
行動目標 (SBOs)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な口腔外科、口腔内科の知識、技能、態度を習得することができる。 2. 医科研修により全身と口腔との関連および周術期管理を学ぶことができる。 3. 口腔がんセンターを通じて、口腔腫瘍に関する専門性の高い臨床、研究を行うことができる。 4. 総合病院ならではのあらゆる疾患に対応可能なマネージメント能力、周術期管理、高度口腔外科手術手技に関する、知識、技能、態度を修得できる。 	
方略 (LS)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科・口腔外科外来、口腔がんセンター外来、病棟・手術室における口腔外科研修、隣接医科研修を行う。 2. 1年間で最大4科の医科を選択し研修を行う。 	
評価 (EV)	
症例毎の形成的評価、専門学会での学会発表、専門領域における学術論文の作成	
プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準	
<p>日本口腔外科学会認定医は、学会在籍2年以上、診断レポート10例、周術期管理レポート10例、手術管理症例数30例以上を必要とする。日本口腔外科学会専門医は、学会在籍6年以上、手術症例数100例以上、学術論文数3編、ならびに入院管理症例数50例以上を必要とする。日本口腔科学会認定医は、学会在籍3年以上を必要とする。日本口腔診断学会および日本口腔内科学会認定医は、それぞれ学会在籍3年以上、2年以上に加え、診療実績、研究発表、学会発表を必要とする。</p>	
問い合わせ先	教授・野村 武史 (tanomura@tdc.ac.jp)

